

第3回 五泉市地域公共交通活性化協議会

日時 :平成 22 年 3 月 16 日(火) 14:00 ~ 15:00

会場 :五泉市福社会館 3 階 大会議室

議事次第

1. 開 会
2. あいさつ 会長 伊藤 勝美
3. 議 事
 - (1) 各種結果報告について (住民意見交換会、意見募集、協賛金制度導入に関するアンケート調査)
 - (2) 五泉市地域公共交通総合連携計画(案)について
 - (3) 五泉市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書(案)について
4. その他
 - (1) 今後のスケジュール等について
 - (2) 阿賀野市地域公共交通総合連携計画について
5. 閉 会

資料

【配布資料】

議事次第 出席者名簿 配席図

【議事資料】

- 資料1 - 1. 住民意見交換会実施報告
- 資料1 - 2. 意見募集(パブリックコメント)実施報告
- 資料1 - 3. 協賛金制度導入に関するアンケート調査結果概要
- 資料2 - 1. 五泉市地域公共交通総合連携計画(案)
- 資料2 - 2. 年度別計画利用者数の推計
- 資料2 - 3. 公共交通再編による事業費の推計
- 資料2 - 4. 実証運行における実証項目
- 資料3. 五泉市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書(案)
- 資料4 - 1. 今後のスケジュールについて
- 資料4 - 2. 調査事業に係る事後評価票(二次評価の結果)

出席者(敬称略)

	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	五泉市	市長	いとう かつみ 伊藤 勝美	会長 新任
2	新潟交通観光バス株式会社	常務取締役	たまき こうすけ 田巻 耕介	代理出席 五泉営業所長 いわいで とみひろ 岩出 富博
3	蒲原鉄道株式会社	代表取締役専務	しげの かずひろ 茂野 一弘	
4	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社総務部	企画室長	にしだ さとし 西田 聡	欠席
5	泉観光バス株式会社	代表取締役	せきづか まさゆき 関 塚 政行	
6	社団法人新潟県バス協会	事務局長	こばやし まさゆき 小林 正幸	欠席
7	五泉市ハイク協議会	会長	たきざわ りゅう 瀧澤 龍	
8	新潟県新潟地域振興局 新津地域整備部	部長	たなべ としお 田辺 敏夫	代理出席 計画調整課長 すさ なつお 諏佐 夏夫
9	五泉市都市整備課	課長	つかの ふみお 塚野 文雄	
10	新潟県五泉警察署	署長	さいとう たくや 齋藤 卓也	代理出席 交通課長 いはら けんた 井原 謙太
11	五泉市老人クラブ連合会	副会長	わたなべ てるお 渡 邊 照男	
12	五泉市小中学校 PTA 連絡協議会	副会長	たかの てるつぐ 高野 晃次	欠席
13	長岡技術科学大学	准教授	さの かずし 佐野 可寸志	副会長 欠席
14	国土交通省北陸信越運輸局 企画観光部交通企画課	課長	すずき のぶあき 鈴木 延明	代理出席 専門官 さとう けんいち 佐藤 健一

	所 属	役 職	氏 名	備 考
15	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	さとう しゅういち 佐藤 収 一	
16	新潟県新潟地域振興局 企画振興部	部長	ふじさわ いさむ 藤 沢 勇	代理出席 地域振興課長 ますだ ひろゆき 増田 廣 行
17	新潟市秋葉区地域課	課長	まるやま しげき 丸 山 茂樹	代理出席 主査 こいで もりひと 小出 守仁
18	加茂市福祉事務所	所長	あおやぎ よしき 青 柳 芳樹	
19	阿賀野市総務課	課長	かとう かずお 加藤 一男	代理出席 庶務係長 すがはら ひろのり 菅原 博徳
20	五泉商工会議所	専務理事	さとう まさお 佐藤 正雄	監査員
21	村松商工会	事務局長	いしくろ てつじ 石 黒 哲嗣	監査員 欠席
22	五泉市商工観光課	課長	かたはら しょういち 片原 正 一	
23	五泉市社会福祉協議会	会長	ひうら みつお 樋浦 三男	
24	日本労働組合総連合会 新潟県連合会 下越地域協議会五泉支部	副支部長	すずき まさのぶ 鈴木 正 伸	
25	五泉市高齢福祉課	課長	さかい のりこ 酒井 範子	
26	五泉市教育委員会 学校教育課	課長	いからし あきら 五十嵐 明	

事務局(五泉市企画政策課)

- 事務局長 長谷川 昭志
- 事務局次長 杉山 信二
- 事務局員 中村 康輔
- 事務局員 松尾 聡
- 事務局員 高橋 誠

議事録

開会 14:00	
司会 (長谷川 事務局長)	<p>定刻になりましたので、第3回五泉市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>はじめに伊藤会長よりごあいさつをお願いします。</p>
伊藤 会長	<p>本日はご多用の中、ご出席をいただきまして、有り難うございます。</p> <p>また、日ごろ、市政運営にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>私は、今年の1月29日より五泉市長となりましたが、五泉市と村松町が平成18年に合併してから、今年5年目に入りました。この間、皆様からは、それぞれの立場で様々な分野において五泉市にご指導をいただいていることに感謝申し上げます。5年目に入り各種の計画が立ち上がっておりますが、それを着実に実行しまして、住みよい地域をつくりあげていきたいと思っております。市民といっしょになってがんばっていききたいと思いますので、皆様からは格段なるご指導・ご支援を賜りたいとお願いするしだいです。</p> <p>さて、今年度は国の支援を受け、「地域公共交通総合連携計画」の策定を進めてまいりました。</p> <p>そして本日は、いよいよ計画の最終案を協議していただくこととなります。</p> <p>計画は、基幹バスとデマンド乗合タクシーの運行を柱とし、この2つを組み合わせ、五泉市における公共交通網を再編しようとするものでありますが、計画を策定して運行することが目的ではなく、市民から喜んでもらい、多くの方から利用していただき、持続可能な公共交通としていくことが大切なことであると考えております。</p> <p>本日は、それぞれの分野からお越しいただいている委員の皆様から、幅広い視点でご協議いただき、忌憚のない意見を出し合い、協議を進めて行きたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
司会 (長谷川 事務局長)	<p>ありがとうございました。これより議事を会長にお願いします。</p>
伊藤 会長	<p>それでは議事に入る前に、本協議会規約第12条第2項の規程により、「会議の成立は委員の過半数」となっておりますが、委員の出席数を事務局から報告してください。</p>
事務局(高橋)	<p>委員26名中、只今の出席は21名です。</p>
伊藤 会長	<p>今ほど事務局から26名中21名の出席との報告がありましたので、この会議は成立しております。</p> <p>それでは議事に入ります。はじめに「各種結果報告」について、事務局の説明を求めます。</p>
事務局(中村)	<p>説明に入る前に本日の資料の確認をさせていただきます。</p>

	<p>資料の確認</p> <p>それでは、「住民意見交換会実施報告」について説明申し上げます。</p> <p>資料 1-1 をご覧ください。開催日時は、2 月 14 日(日)及び 21 日(日)で、1 日に 3 ヶ所をまわり、五泉地区 3 ヶ所・村松地区 3 ヶ所の計 6 ヶ所で行いました。参加者は、男性 52 名・女性 53 名で合わせて 105 名の参加がありました。当日の進行内容は、自己紹介、パワーポイントを使った“新しい公共交通の姿”の説明、デマンド乗合タクシーの動画上映、デマンド乗合タクシーの利用イメージの説明、意見交換会、質疑応答という流れで行いました。主な意見ですが、かわひがし保育園では、「高齢者が多いので映像等を使った説明会を開催してほしい」や「バスとの乗り継ぎについて、天候が悪いこともあるので、空き店舗を待合所に活用してはどうか」という意見がありました。すもと保育園・はしだ保育園であった共通意見として、「学校への通学に利用できないか」といった質問・意見がありました。川内保育園では、「予定時刻どおりに来るのか」や「JR に乗り遅れることはあるのか」などの意見がありました。大蒲原保育園では、「今、蒲鉄小型バスのバスを使っているが、廃止されたらどうなるのか」などの質問がありました。次に、アンケートは 78 人から回答がありましたが、自由意見として「高齢者や障がい者への料金を助成してほしい」や「利用の中心者である高齢者に対して、地元で説明をしてほしい」といった意見がありました。目的地の問いかけでは、医療施設が最も多いという結果がでました。最後、目的地への希望到着時刻の問いかけでは、目的地には 9 時から 11 時頃に着きたいという回答が最も多く、自宅には 11 時から 13 時には帰りたいという回答が最も多いという結果になりました。</p>
事務局(高橋)	<p>それでは、「意見募集(パブリックコメント)の実施報告」について、説明させていただきます。</p> <p>資料 1-2 をご覧ください。前回会議で協議しました連携計画(案)について、パブリックコメントを実施し広く意見を募集いたしました。募集期間は 2 月 10 日～3 月 2 日の 3 週間、意見は 35 人の方から 12 件ありました。このほか、賛否の結論だけを示したのもや今回の計画と直接関係のない意見などがありましたが、それらについては市の考え方を示しておりません。</p> <p>意見については、5 つの種類に分類し、意見ごとに市の考え方を示しております。ルート・エリア・ダイヤについて、JR との接続、運行便数、デマンド乗合タクシーのエリア、運行日に対する具体的な意見がありましたが、これにより連携計画自体を変更する必要はないと考えています。今後、これらの意見も踏まえて実証運行を実施したいと考えています。次に、バス停について、設置場所に対する意見等がありましたが、こちらも連携計画自体は変更せずに、意見も踏まえて設置場所を検討したいと考えています。次に、料金について、障がい者や子どもの割引、障がい者への助成などに対する具体的な意見がありましたが、こちらも連携計画自体は変更せずに、意見も踏まえて運賃を検討したいと</p>

	<p>考えています。また、障がい者への助成については、連携計画とは別に障がい者福祉の観点から関係機関と協議したいと考えています。次に、.車両について、小型車両の使用、車椅子対応の車両の導入という意見がありました。こちらも連携計画自体の変更は必要ないと考えています。重度障がい者の移送方法については、連携計画とは別に障がい者福祉の観点から関係機関と協議したいと考えています。次に、.その他について、周知の方法、障がい者への配慮、適正な受益者負担、羽下地区の交通網などについて具体的な意見がありました。こちらも連携計画自体の変更は必要ないと考えています。</p> <p>以上、パブリックコメントによる連携計画の変更はないものの、今後、これらの意見も踏まえながら連携計画を進めていきたいと考えています。なお、提出された意見と市の考え方につきましては、4月9日～5月10日まで、市ホームページや市役所行政資料コーナー、図書館などで公表する予定です。</p>
<p>コンサルタント (エヌシーイー(株) 岩淵)</p>	<p>それでは、「協賛金制度導入に関するアンケート調査」について、説明させていただきます。</p> <p>資料1-3をご覧ください。今回の計画において公共交通再編の柱となる「基幹バス」「デマンド乗合タクシー」を運行するための新たな財源の確保方策として、協賛金制度の導入の可能性について検討することを目的に実施しました。調査対象は市内企業100社を対象とし、53社は市、47社は当社が無作為に抽出しました。配布先は、医療・製造業などの業種ごとに分類しています。配布及び回収は郵送方式で、調査期間は2月20日～3月5日まで行いました。</p> <p>次に結果概要について説明いたします。問1.「公共交通と地域が連携して実施できる施策で、関心があるものをお選びください。」では、「施設等に停留所の設置、駐車場への乗り入れ」への回答が最も多く、次いで「公共交通利用者に割引券等を配布」「施設等利用者に公共交通利用券を配布」という結果でした。次に問2.「基幹バス・デマンド乗合タクシーの協賛金制度に関心はありますか。」という質問では、「大に関心がある」「まあ関心がある」と回答した企業をあわせて約3割で、逆に「あまり関心がない」と回答した企業も同等程度ありました。次に問3.「ご提示いただける金額を教えてください」という質問では、記載のとおり多少バラツキが見られる結果となりました。次に問4.「問2の「あまり関心がない」「全く関心がない」の理由は」という質問では、「協賛金制度にメリットを感じないから」「経済的に難しいから」といった回答が多いという結果でした。次に問5.「現在運行している路線バスやJR駅、時刻表等に広告等を掲載していますか」という質問では、「これまで一度も掲載したことがない」という回答が約7割を占めました。次に問6.「自由意見」については、記載のとおりです。最後に問7.「貴社について教えてください」という質問で業種・所在地の属性を聞いていますが、結果は記載のとおりです。</p>
<p>伊藤 会長</p>	<p>ただいまの「各種結果報告について」質疑はございませんか。 <input type="checkbox"/> 質疑なし</p>

	<p>無いようでありますので、それでは次に「五泉市地域公共交通総合連携計画(案)について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局(中村)	<p>それでは、「五泉市地域公共交通総合連携計画(案)について」説明申し上げます。連携計画につきましては、前回会議において詳しく説明しておりますので、本日は変更点を中心に説明いたします。</p> <p>資料2-1をご覧ください。8ページの数値目標ですが、前回会議では計算中としていましたが、現況及び目標値について記載させていただきました。次に9ページの「実施主体」を「関係団体」と文言整理をさせていただきました。次に12ページの計画名を正式名に文言整理をさせていただきました。次に13ページですが、重点施策と事業を明確にするため、事業の部分については5)目標を達成するために行う事業として次ページに分けて整理させていただきました。次に15ページですが、7)運行主体を7)実施主体とし、具体的にバス事業者が実施すると記載を改めました。次に32ページですが、7)運行主体を7)実施主体とし、具体的にタクシー事業者と五泉市社会福祉協議会が実施すると記載を改めました。また、9)運行管理 運行管理者は五泉市社会福祉協議会に決定しました。次に44ページですが、5)その他必要な施策を6)新たな事業の具体化に向けた検討というタイトルに変更しました。中身についてもABC3つの事業を優先的にするものの、重点施策以外についても計画の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて事業化に向けた検討を行うと記載を改めました。</p> <p>続いて資料2-2をご覧ください。今後導入する基幹バス・デマンド乗合タクシーについて、どれほどの利用者がいるのか推計をいたしました。平成19年度は、再編に向けた取り組み前ですので民営路線バスの実績値となっております。平成20～22年度は、コミュニティバスの利用者も含めた数値となっております。ただし、コミュニティバスは通常の会計年度(4月～翌3月)、民営路線バスはバスの会計年度(10月～翌9月)のため、多少数値が重複している部分があります。このため、平成19年度と再編が終わる平成23年度以降を比較していただければと思います。次に、次ページ以降に、基幹バスとデマンド乗合タクシーの利用者推計の計算を記載しています。基幹バスについては、市が行った乗降調査のデータと蒲鉄小型バスの実績データを基に推計いたしました。これにより、大体1日あたり140人程度の利用があることが分かりましたが、そこに利便性の向上や運賃の低減などの増加要因を加味して利用者を推計しました。また、それを基に運賃収入も推計しています。次に、デマンド乗合タクシーについては、先進地視察のデータを基に推計しました。人口規模等は違いますが、1日に人口の何%の人が利用しているというデータがありまして、先進地視察をした4団体は人口の0.27%～0.59%の利用割合となっていましたので、それを基に平成24年度目標を人口の0.4%と定めて推計しました。これらにより、1日の利用者数・年度ごとの利用者数を推計し、それに基づく運賃収入も推計しております。また、胎内市のデータを基に時間帯別の利用者数を推計しましたが、住民意見</p>

	<p>交換会のアンケート結果から、同じような時間帯に移動ニーズがあることが分かりました。</p> <p>続いて資料 2-3 をご覧ください。これは、平成 22 年度から平成 25 年度まで、A. 基幹バス運行事業、B. デマンド乗合タクシー運行事業、C. 公共交通の利用促進事業ごとに概算の事業費をまとめたものですが、平成 25 年度は、経常損失 50,321 千円、収支率 37.0%と推計しました。次に、運行に関する経常損失額の実績と推計をまとめたものです。再編に取り組んでいなかった平成 19 年度と再編後の平成 25 年度を比較すると、約 3,000 千円の削減ができると推計しております。また、平成 22 年度～24 年度までの国庫補助について、制度上の補助率は 1/2 ですが、予算が厳しいこともあり、実際はこの補助率を守れなそうだという情報が入っていますので数字を記載していません。なお、平成 22 年度が、会計年度上、バス補助金の支払いが残っている中で新事業に取り組むということになりますので、市の負担が最も大きくなります。最後に協議会が行う地域公共交通活性化・再生総合事業に係る負担の推計をまとめています。</p> <p>続いて資料 2-4 をご覧ください。実証運行における実証項目をまとめたものですが、上段に連携計画における数値目標を年度別に整理し、下段に評価項目ごとに評価の視点・評価の方法・改善策を整理しています。PDCA サイクルの中で、これらを踏まえて実証運行を行っていきたいと考えています。</p>
伊藤 会長	<p>ただいまの「五泉市地域公共交通総合連携計画(案)について」質疑はございませんか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでありますので、それでは次に「五泉市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書(案)について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局(中村)	<p>それでは、「五泉市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書(案)について」説明申し上げます。</p> <p>資料 3 をご覧ください。これは、今ほど説明の連携計画にありました 3 つの事業を実施する上で、国より事業の認定をしてもらう際に必要なものです。事業を実施するのは、あくまでも当協議会になりますので、会長名で申請をします。次に、目的や目標などは連携計画から抜き出しています。次に、事業スケジュールですが、基幹バス運行事業及びデマンド乗合タクシー導入事業は、本年の 10 月 1 日から運行を開始し、年度末には評価・見直しを行い、これを次年度以降も続けるということにしています。公共交通利用促進事業は、本年の 7 月頃から交通マップやホームページの作成などをしていくというスケジュールになっています。次に、全体事業計画の事業費等ですが、3 年間の総事業費が 151,188 千円、そのうち国費が半額の 75,592 千円、地域の負担が 75,596 千円と見込んでいます。次に、年度ごとの事業計画ですが、事業名は 3 年間変わりません。事業の概要(目標)については、2 年目は、前年の利用データから見直しを行い、さらなる定着を目指すとしていますし、3 年目は、2 年間の利用データや意見を基に</p>

	<p>本格運行に向けて運行ダイヤや運行ルート等の最適化を図るとしてあります。最後に、当協議会の委員名簿を添付しています。</p>
伊藤 会長	<p>ただいまの「五泉市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書(案)」について、質疑はございませんか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでありますので、「五泉市地域公共交通総合連携計画」について案のとおり決定することとし、「五泉市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書」について、案のとおり国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局へ申請させていただくことでご異議ございませんでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>ご異議がないようですので、案のとおり承認いただけたものとします。以上をもちまして、本日の議事は終了いたします。</p> <p>続きまして、次第「4 その他」にうつらせていただきます。まず、「今後のスケジュール等について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局(中村)	<p>それでは、「今後のスケジュール等について」説明申し上げます。</p> <p>資料4-1をご覧ください。今年10月までのスケジュールを記載させていただきました。まず、今ほど承認いただきました連携計画及び認定申請書については、3月中に国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局へ提出いたします。4月以降、国より事業の認定をいただいた後、それに基づき補助金の交付申請を提出し、交付決定をいただきます。補助金の交付決定通知があった後、6月に平成22年度第1回協議会を開催し、平成21年度の事業報告・決算報告、平成22年度の事業(案)・予算(案)を審議していただきたいと考えています。6月～9月にかけては、公共交通再編に関する住民説明会を開催します。町内会・老人クラブ・お茶の間サロンなどの会合に出向き、基幹バスとデマンド乗合タクシーの利用方法を周知するとともに、デマンド乗合タクシーの利用者登録のお願いをしたいと考えています。9月に第2回協議会を開催し、計画事業について詳細を確認していただき、10月から運行開始ということになります。</p> <p>次に資料4-2をご覧ください。前回会議において、五泉市地域公共交通活性化協議会の調査事業に係る事後評価表の確認を行い、運輸局に提出したところです。このたび、その二次評価の結果が運輸局より来ましたので、後ほどご確認ください。この結果を踏まえながら、今後、事業を実施していきたいと考えていますのでよろしく申し上げます。</p>
伊藤 会長	<p>ただいまの「今後のスケジュール等について」質疑はございませんか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでありますので、次に「阿賀野市地域公共交通総合連携計画」について、本日出席いただいております阿賀野市総務課 菅原係長より説明いただきたいと思っております。</p>

<p>加藤委員代理 (阿賀野市総務課 菅原)</p>	<p>本日は、貴重な時間をお借りしまして、当市の「阿賀野市地域公共交通総合連携計画」について説明させていただきます。阿賀野市も、五泉市と同様に地域公共交通活性化・再生総合事業に取り組んでいまして、3月10日の協議会で連携計画が承認され、今後、国土交通省へ提出する予定となっています。本計画は、もちろん阿賀野市に関する計画ですが、一部、五泉市が関わる部分も盛りこませていただいておりますので、その点について報告させていただきます。</p> <p>阿賀野市地域公共交通総合連携計画をご覧ください。当市には、道路運送法第79条の市営バス11路線のほかに、沿線市町と共同で赤字を全額補填している新潟交通観光バス3路線が運行されています。この新潟交通観光バス3路線についても、市営バスの見直しにあわせて改善をしたいということで、連携計画に盛り込ませていただきました。64ページの「施策 1-2 需要に応じた運行方法の導入」に記載していますが、五泉営業所～大曲まで運行している路線について、阿賀野市営バスへの切り替えも視野に入れ、より効率的で経費節減ができる運行方法に見直しをしたいと考えています。具体的には、72ページに事業1として記載していますが、利便性の向上、利用者数の増加及び運行経費の削減等を図るため、運行経路、停留所、運行時刻、運行方法等について調査・検討を行い、見直しを行うとしています。今まで“大曲”に安田高校があったときは、五泉市からも通学者が結構いましたが、廃校になってからは利用者が減少しました。逆に阿賀野市から五泉高校へ通学する生徒は結構いますので、この路線を廃止するということにはならないと考えていますが、五泉市にとっても高額な補助金を負担している路線ですので、ぜひ運行方法を見直して経費節減を図りたいというものです。以上が、五泉市に大きく関わる計画ということで報告をさせていただきます。</p>
<p>伊藤 会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他ですので、委員の皆様から何かございませんでしょうか。</p> <p>意見等なし</p> <p>それでは、以上をもちまして第3回五泉市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。</p> <p>長時間のご協力、ありがとうございました。</p>
<p>開会</p>	